

七　増えてきた商店と交通の発達

(一) 学区の商業

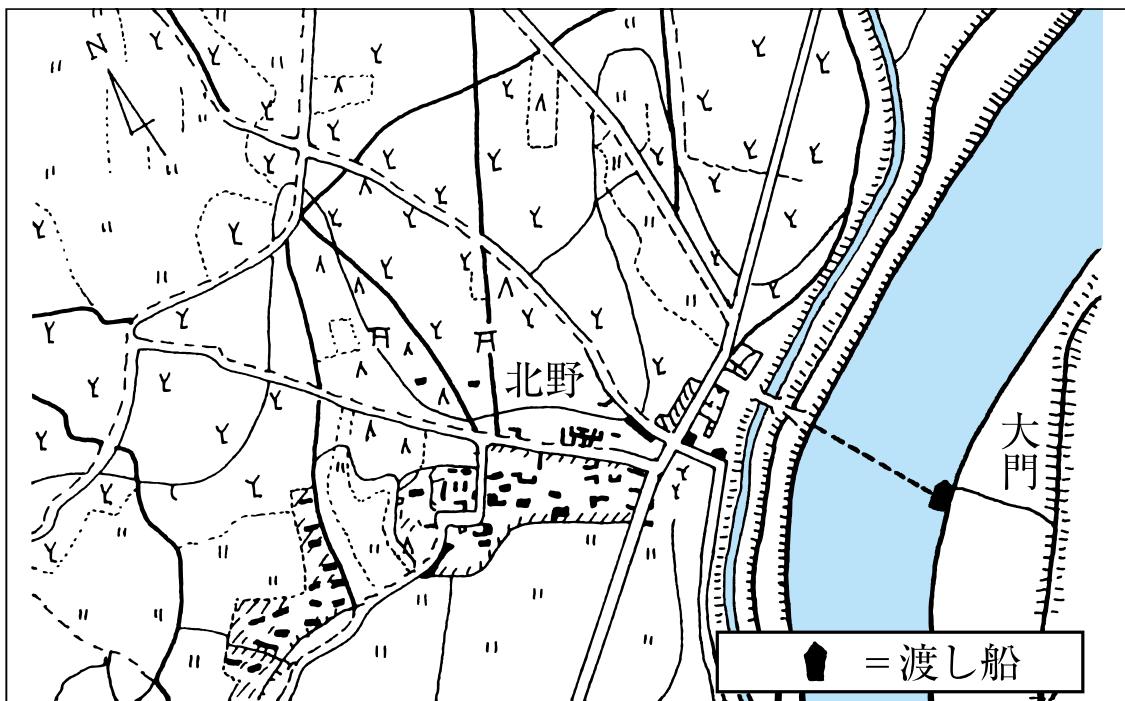
学区の商店　この学区の商店は、平針街道や、上郷線などの大きな道路にそつてあります。

上郷線は、古くから北野にある道路です。この道路ぞいには、鈴豊商店のような百年以上も続いている古い商店がありました。この商店が開かれたころは、学区の人たちだけでなく、北野の渡しで川をわたつて来る人や豊田方面から来る人も利用したそうです。

平針街道は徳川家康の命令で、岡崎城と名古屋城



北野町にあった鈴豊商店（昭和 60 年ごろ）



渡し船のあった場所（昭和10年代）

北野の渡し船

現在のように日名橋がないころ、大門に行くには天神橋まで遠回りするしかありませんでした。そこで、いつのころからか、大門と北野の間を行き来する渡し船が誕生しました。

北野町東山のバス停すぐ横に、渡し場まで降りていく道があったそうです。現在は、その道も途中でとぎれてしまっています。

大門の渡し場に、いつも一そこの渡し船がとまっていたそうです。

北野の渡し場で、大門の渡し場に向かつて「ホーイ、ホーイ」と呼ぶと、渡し船がこちらの岸まで来てくれて、大門へ運んでくれたという話です。渡し船は定員十人あまりで、船賃は二銭ぐらいたつということです。主に大門の祭りに行く人や里帰りの人利用したそうです。

しかし、昭和十六年に日名橋ができると、その役割もうすれ、渡し船もすたれてしまいました。

を最短距離で結ぶ街道として、東海道の尾崎より名古屋に向けてつくられ、新街道と呼ばれていました。明治時代に尾崎から平針までを平針街道と呼ぶようになり、昭和三十八年二代目の日名橋が完成し昭和四十年に舳越町や橋目町を通り、現在の平針街道（主要道路県道五十六号線）ができました。この道路は、現在もバイパス化が進められており、周辺にはコンビニエンスストアやスーパーマーケット、本屋、きっ茶店などの商店ができました。また、上郷線や平針街道の発達とともに学区の商店は変わってきました。北野学区の人をめあてにした商店よりも、道路を通る人をめあてにした商店が増えてきたのです。平成四年に上郷



平針街道バイパスぞいの商店

線の道幅が広くなると今まで田畠だつた土地がうめ立てられ、次々と商店が立ちならぶようになります。

平針街道のバイパスが全線開通すれば、今後さらには道路を通る人をめあてにした商店が増えてくるでしょう。

学区の商店 北野学区には大きな商店がないために、食料品や衣料品を買う時は、矢作北学区の「ピアゴ」や「やまのぶ」などのスーパー・マーケットを利用する人が多いようです。また、おしゃれ着や値段の高いものは、さらに遠くにある大型のショッピングセンターなどで買い求めているようです。専門店が多くあるショッピングセンターの方が、品物の種類や数がたくさんあつて



大型のショッピングセンター

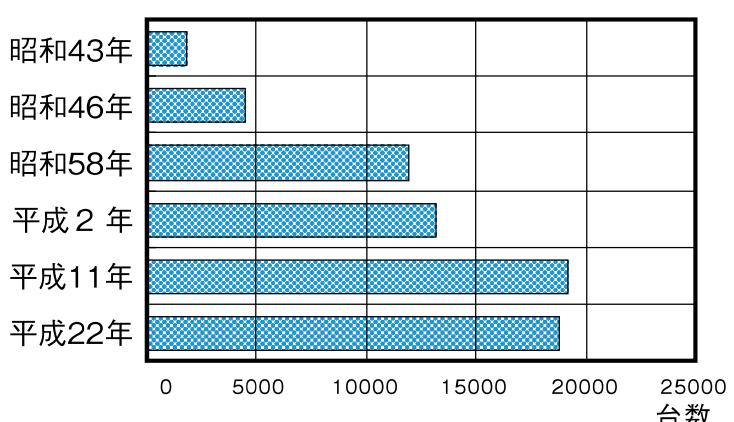
何でもそろうことや、好みの品物をいろいろ選ぶことができるからです。最近は、昔に比較して車が普及してきたことなどで、買い物先の範囲が広がったことや、また、とても広い駐車場があることから、こうした大型ショッピングセンターを利用する人が増えてきました。

(二) 発達する交通

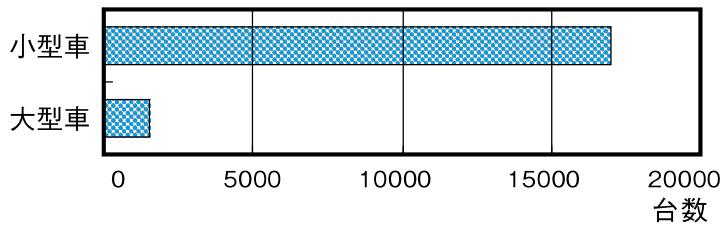
平針街道と上郷線

平針街道は北野学区の南をほぼ東西の向きに通つていて、毎日数多くのトラックや乗用車などが行き来しています。この道路は主要地方道・名古屋岡崎線といい、現在は橋目町を通って名古屋の東部へと通

1日の交通量（橋目町）



ラッシュ時の交通量（橋目町）(台／時間)



平針街道の交通量（平成22年度西三河建設事務所調べ）

じています。この道路は、国道一号のバイパスの役割を果たすようにつくられました。現在では交通量が多く、昭和四十三年（一九六八）に一日昼間約千八百台だったのが、四十年たつた平成二十二年（二〇一二）には十倍の約一万七千台に増えました。

この平針街道は、昼間は会社や工場などのトラックがたくさん通ります。朝と夕方は、名古屋方面や豊田方面、三菱自動車の岡崎工場などに通勤する人の車で、たいへんな交通ラッシュになっています。

上郷線は、北野学区の東をほぼ南北に通つていて、平針街道と同じように乗用車やトラックが行き来しています。この上郷線は、豊田市方面への通勤路として多



道幅が広げられた上郷線

くの人が利用しています。現在は、北野学区から国道一号の暮戸交差点までの道幅が広げられ、歩道も整備されました。

交通の発達 平針街道を使つて名古屋方面へ向かう車が増えたことから、より多くの車が短時間に通行できるような道路が必要になつてきました。そこで、新たに岡崎方面と名古屋方面をつなぐ大きな道路が計画されました。平成五年三月には、その計画の一部である岡崎大橋が開通しました。さらに平成十七年九月には北野小学校のすぐ南を通っている平針街道バイパスが開通しました。岡崎大橋とバイパスのおかげで交通量の多かつた平針街道にゆとりがで



岡崎大橋

き、交通ラッシュの緩和に役立っています。

また、北野学区を通つている愛知環状鉄道は、昭和六十三年（一九八八）一

月三十一日に国鉄岡多線から名前を改め、JR東海道線の岡崎駅からJR中央線の高蔵寺駅（春日井市）まで結ばれました。

これによつて、名古屋、豊田・瀬戸・春日井方面への通勤・通学がとても楽になりました。

運輸業 北野学区には、多くの運送会社があり、

ほとんどが平針街道と上郷線ぞいや三菱自動車工業のまわりにあります。これは、高速道路の二つのインターチェンジに近く交通の便がよいという理由と、大きな工場や関連工場が近くにあつて運ぶのに便利であるという理由によるも

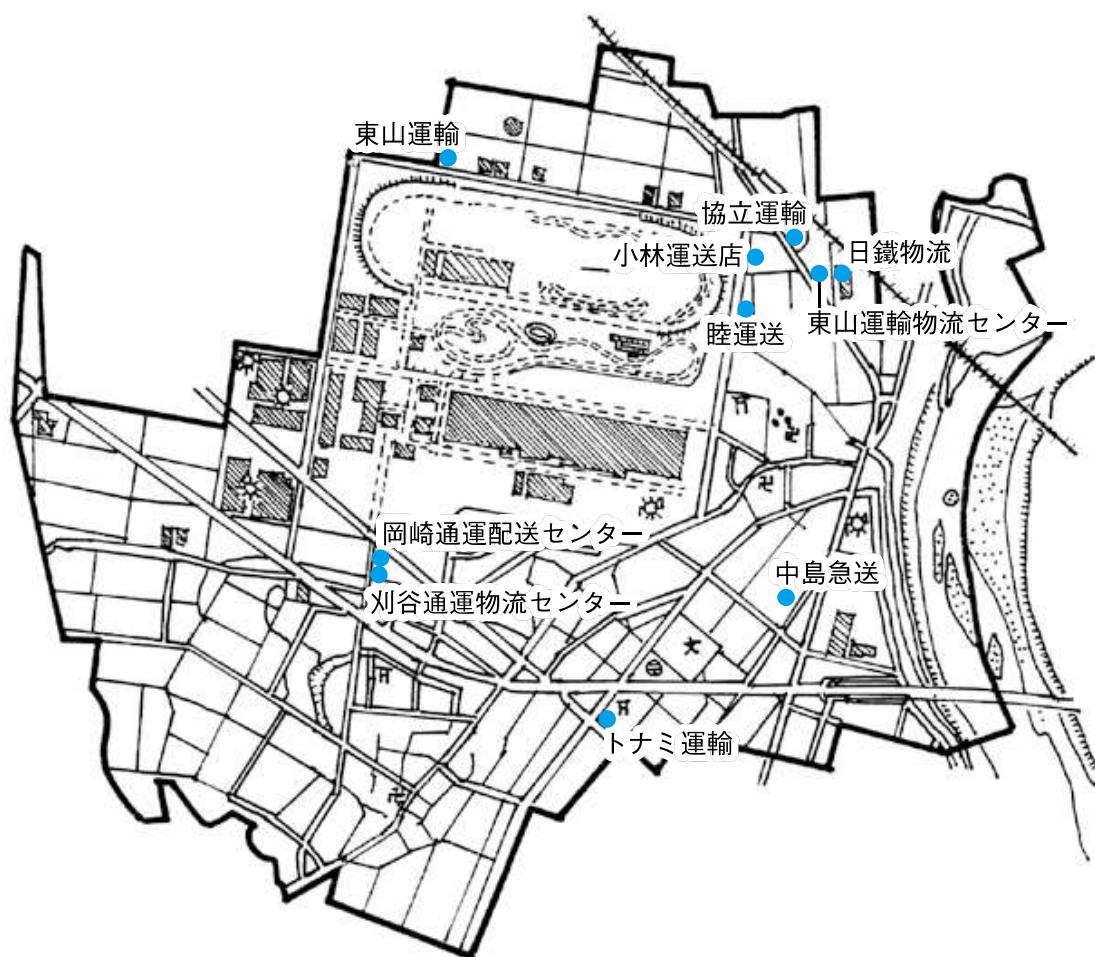


平針街道ぞいの運送会社

の
で
す。

また、三菱自動車の岡崎工場で完成した車を、高速道路を使つて全国各地に送り届けたり、世界各地に船で送るため、豊橋港や名古屋港に運んだりしています。

運輸業は、現在の社会で、なくてはならない重要な仕事の一つです。



学区の主な運送会社